

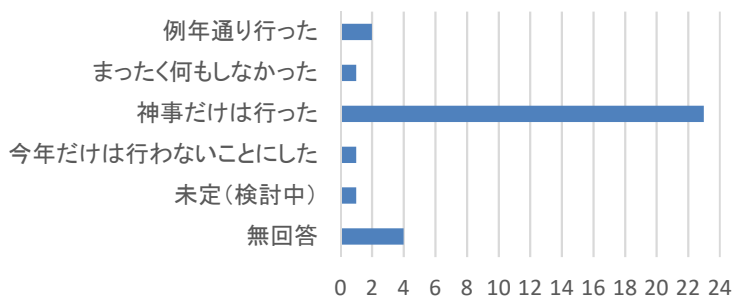
# 令和2年度 地区の祭り実施状況調査 集計

令和2年10月～11月調査実施

配布数 32件

回答数 32件

## 問1 令和2年度の実施状況

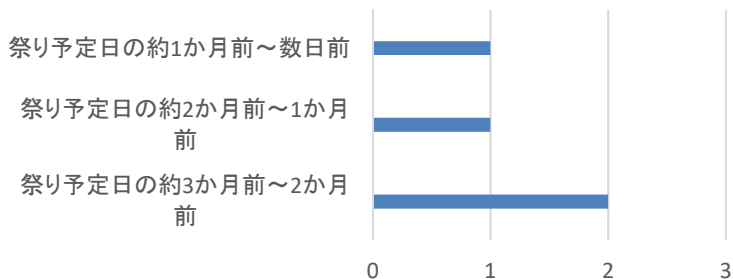


※「例年通り」の回答は、縮小したお祭り（お囃子だけ実施等）と神事を行った状況。行事全てを例年通り実施した団体はない。

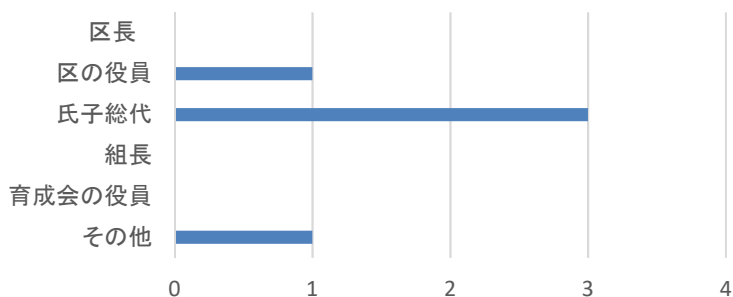
### ▼問1で「例年通り行った」と回答（4件 うち1件は記入時点での予定）

※問1で無回答だが、問2～8に記入のあったものを含む

## 問2 実施を決めたのはいつですか

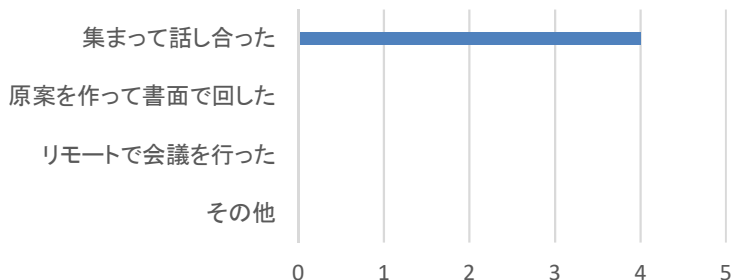


## 問3 誰が決めましたか ※複数回答可



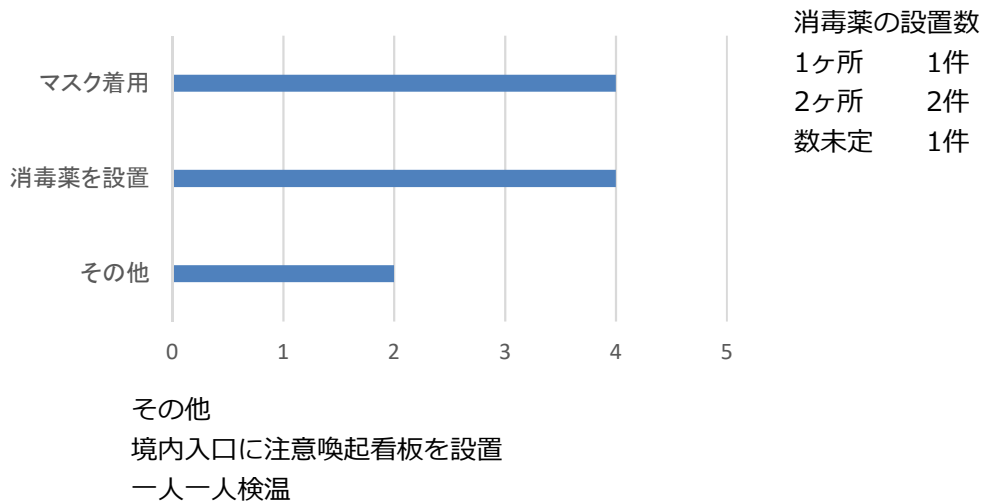
その他 太鼓披露、保存会

## 問4 決定の方法

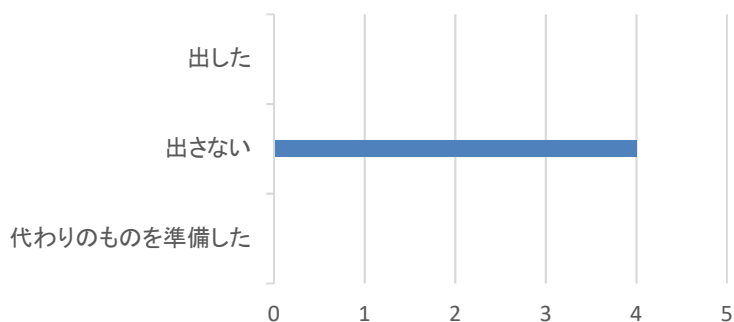


問5 会議録・資料を市教委に提供していただけますか  
 可能 3件  
 不可・会議録等なし 1件

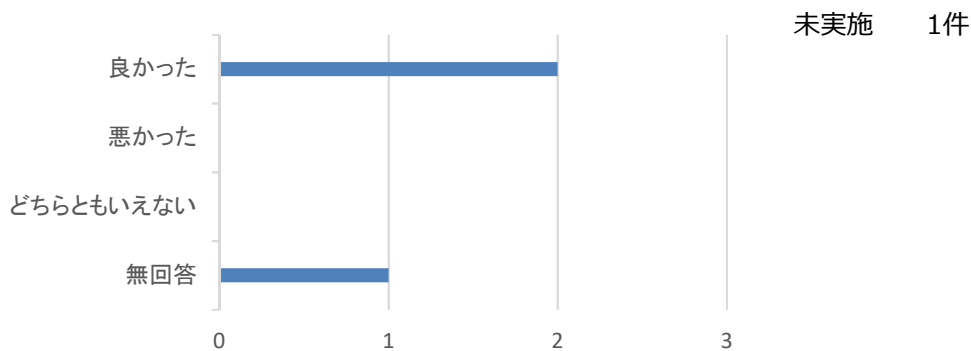
問6 新型コロナウイルスに対する感染予防対策で、行ったもの（行う予定のもの）は  
 ※複数回答可



問7 屋台など食べ物の店を出しましたか



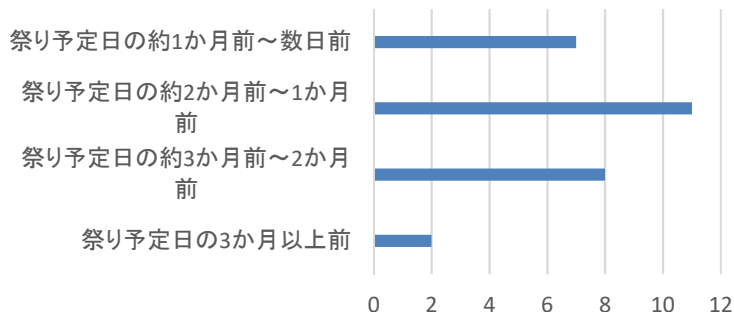
問8 区民・氏子などの反応はどうでしたか



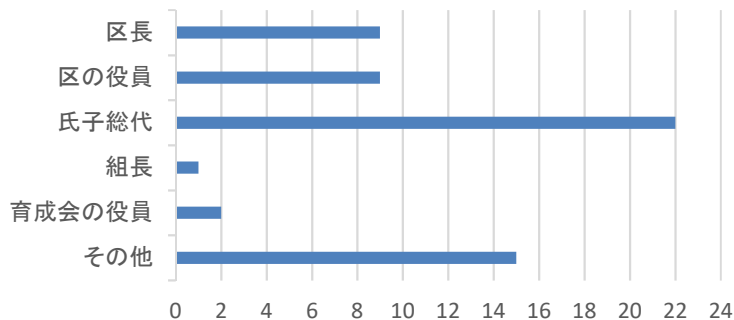
▼問1で無回答または「まったく何もしなかった」「神事だけは行った」「新型コロナウイルス拡大防止のため今年だけは行わないことにした」と回答（28件）

※問1で無回答だが、問2～8に記入のあったものを含む

問9 行わない事を決めたのはいつですか



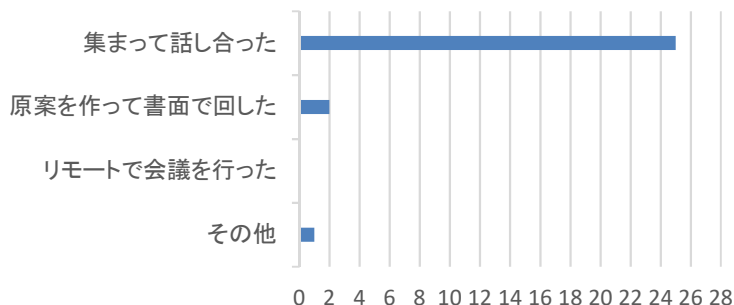
問10 誰が決めましたか ※複数回答可



その他

道祖神仲間代表、公民館役員、PTA、祭保存会、祭保存会三役・役員、祭り実行委員会、区役員会、地区長、地区役員、神社、宮司、宮司以下職員、常会長、組長代表、消防団役員、中学保護者会地区長、小学校保護者会地区長、年番役員、保存会OB会役員

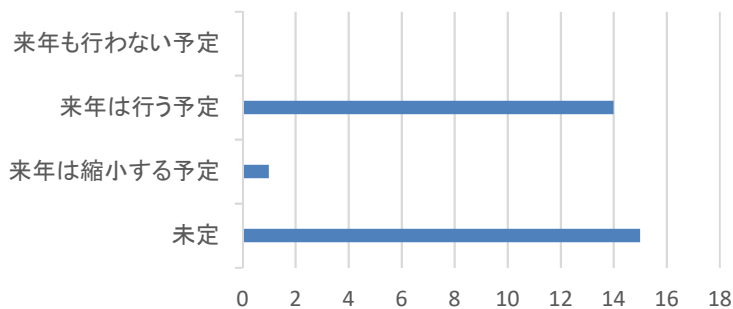
問11 決定の方法



問12 会議録・資料を市教委に提供していただけますか

可能 6件  
 不可・会議録等なし 22件

### 問13 今後の祭りの実施予定



※問1で無回答だが、問2～8に記入のあったものを含む

### 問14 問13の理由はなんですか

#### ▼来年は行う予定

御船曳行が密になる為

コロナ感染の収束・区民の要望

コロナ感染症の経過を見ながら行いたい。地域の伝統文化を継続、伝承したい。

新型コロナウイルス感染防止が出来れば行いたい。

新型コロナウイルスの影響がなくなれば

恒例の行事であり、もっとも区民が集う機会であるため

コロナ 終息

伝統行事を続けたい。

今後、他の感染症と同等の扱われ方（意識のされ方）になっていくと予想されるため

今回はコロナ禍による為

伝統文化の継承と地域住民のコミュニティ

来年は今年の方まで盛上げたい。

#### ▼来年は規模を縮小する（神事のみ等） 予定

新型コロナウイルス微増傾向で地方に広がって全国的に感染者が減らない。

#### ▼未定

新型コロナウイルスの状況により判断。

市内のコロナ感染状況を判断材料のひとつとしているため、直近の状況が分からないため。

新型コロナウイルス感染症の影響等どう変化しているか不明なため。

コロナウィルス次第

まだ会議なし。

コロナが終息しなければ実施できないため

コロナの状況に依る。コロナの収束又はワクチンの完成が実現すればフルスペックで祭りを挙げる。

コロナウィルスの状況によって区が活動すれば実施、区が活動縮小すればそれに従う。

新型コロナウイルスの拡大の様子を見る。

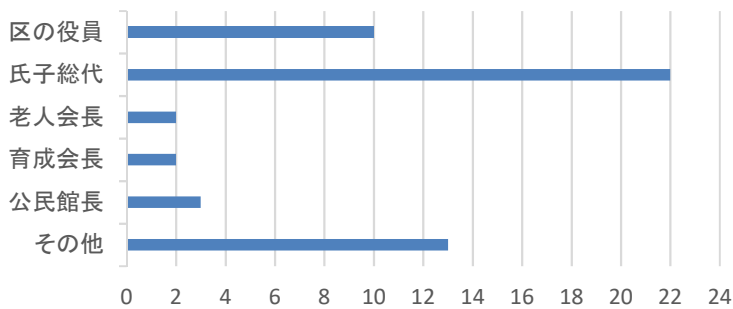
感染症の収束状況と柴船の作り手減による保存会員の増員が必要なため。

新型コロナ禍収束する状況が見えて来たら祭典行事行う考えです。又回りの神社の同行を見て合せて

行きたい。大切な神社ですから祭り事は行なうべきと考えます。

改めて状況判断したい。

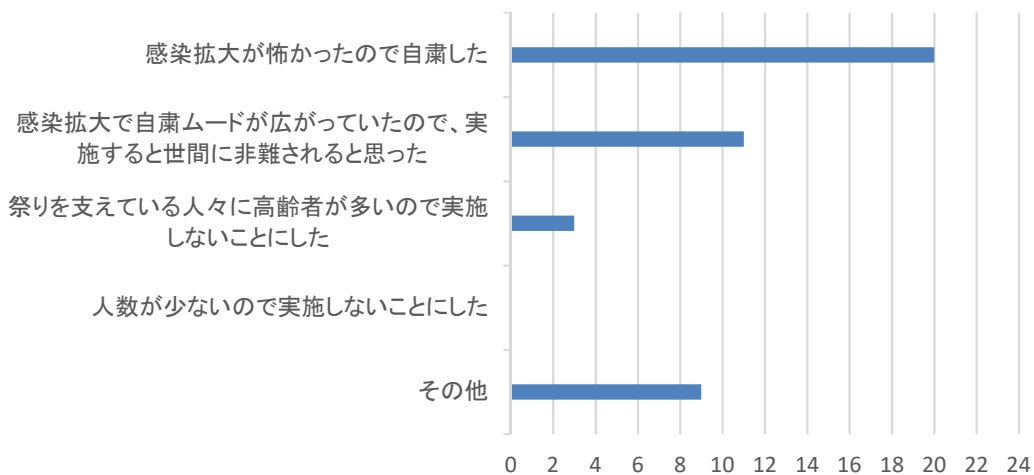
問15 神事だけ実施した場合、神事に参加した方の役職は ※複数回答可



その他

道祖神仲間の役員、保存会・保存会会長・保存会役員、保存会OB会役員、総務部長、消防団分団、消防団役員、地区消防団長、安曇野市交通安全協会地区長、氏子総代の代表、名誉宮司、営農生産組合長、祭親連会長、祭囃子保存会会長、当番常会長、正副常会長、民生児童委員、総代OB、ボランティア会会長、婦人会長、地区役員、地区長、青年団組織代表、若衆頭等、中学保護者会地区長、小学校保護者会地区長、年番役員

問16 今年、祭りをやめた（規模縮小した）理由 ※複数回答可



その他

区から御船を曳くと密になるので、出せないとの事で、縮小となった。  
 PTA役員から夏休みの行事は中止・不参加との連絡があった。  
 十分な対策が難しいと判断したため。  
 小中学校の休校等、自粛ムードが広がっていた。  
 子どもに拡大してはと、自粛した。  
 神社本庁の通達に従った。  
 区役員の活動が自粛されて（集会無く）、（祭典）委員が依頼する事が出来なかった。  
 他の神社の方法に従った。（神事のみ少数で行う）  
 祭典よりも、その準備段階での三密状況が心配され、殊に、高齢者が多いことから、規模縮小とした。  
 保存会会員の高齢化等により、年々柴船の組み立てが困難となり、今後の方向性について検討中であつたため。

## ▼自由記述

- 問17 昨年までと比較して、今年の祭りについて工夫した点・苦労した点、来年以降の展望等
- ・今まで中止になった事がなかった行事なので、行わないという判断をしても良いのか悩んだ。
  - ・伝統を継承していくのに規模縮小などいろいろな手段を検討中。
  - ・祭りを行う子供が少ない中で、今年は神事（飾り付け）のみ行ったが、祭りの準備、太鼓のたたき方等が子供の中で継承されていけるか心配です。
  - ・今年の祭りは自粛ムードが高まった中で事でしたが、来年は今まで通り行いたいと考えています。
  - ・舞台の曳行は中止し車で獅子頭を運び奉納獅子舞のみ実施しました。
  - ・三密には気を使い道中の飲酒はすべて中止しました。
  - ・新型コロナウイルス感染拡大が終息し例大祭が盛大に出来る事を望みます。
  - ・お舟の曳航は中止となりましたが子供たちの太鼓の披露は実施しました。
  - ・太鼓の練習、披露は今迄狭い所で行っていましたが今回お宮本殿をお借りしました。
  - ・コロナ対策を万全に行う為マスク着用、消毒、検温、境内入口を1ヶ所に絞る、看板を設置した。
  - ・太鼓の音に対する近隣へ了承回りを実施。
  - ・来年度はコロナが終息する事を願い実施したいと思います。
  - ・少しでも、飾り物、祭り囃しを保存会員だけでもやりたい
  - ・感染防止策を工夫しながら、これから検討し、実行して参りたいと考えています。
  - ・来年以降については、新型コロナウイルスが終息すれば、伝統行事でありますので、通常開催を予定しています。
  - ・コロナウィルスの感染に伴い各地区の神社では、神事みの所が多かったと思われます。諸事情の理由は分かりませんが、非常に残念な事です。当保存会としましても、来年度は是非伝統の祭囃子と獅子舞を奉納したいものです。
  - ・今年は、神社の鳥居の建替えが重なったことから、例年以上に祭典を盛大に行う予定だったが、新型コロナウイルス感染対策の観点から規模を縮小せざるを得なく残念でした。祭典を心待ちにしていた子供達のために、地元の店で買物ができるよう500円程度のクーポン券を配布した。来年は注意を払いつつ実施していきたい。
  - ・参加人数が増える（50名ぐらい）のでお舟造りは取り止め寄附の募集も中止、おはやしも人数が多いので中止 直会（なおらい）も行いませんでした。浦安の舞は1名で行い、新生児健康祈願祭は3家族で神事を行いました。例大祭の準備作業は有志の祭典委員（15名）様に御協力して頂き後の作業と片づけは総代4名で行いました。来年以降もコロナが終息しない様なら今年と同じ様に行います。今年安曇野市からは1、2名のコロナウィルスの患者が出た様でしたが来年もし多人数出る様な事になりましたら是非行政の方から自粛なり中止なり指導してもらえると皆が納得して祭事が出来ると思いますので宜しくお願い致します。
  - ・例年の祭り費用の徴収は行なわなかった。
  - ・新型コロナウイルスの拡散防止の点から全戸に「あまびえ」の色紙350枚を配布した。（各常会長より）
  - ・今年止めた事により、次の氏子総代が方法について心配だ。
  - ・神事と新型コロナ退散の巫女の舞及び幟り旗は掲揚した。（各常会長及び氏子総代で）(大掃除は行った)
  - ・コロナの件でどのように行ったらよいか、何回も会議を開き、検討して、どこまで縮小しておこなうか、苦労した。・来年以降はコロナが落ち着いて例年通り出来ることを望む。
  - ・来年のお祭り中止今のところ話し合いが出来ない為。予算の不足、氏子からの寄付金が集まらないので、お祭りが出来ないのが現実であります。企業からの寄付回収も出来ない。

・近隣では若衆の活動が衰えている中、我地区でも人事ではありません。今回の神事のみをきっかけに、今後も何もしなくなる事を心配しましたが次年度に向けて若い衆が自主的に獅子舞等を後輩への引継ぎを1ヶ月位練習をしていたので大変感動しています。

---

## ▼まとめ

このアンケートは、安曇野市内に所在する指定無形民俗文化財の保存団体と、「安曇平のお船祭り」調査にご協力いただいた、お船祭りを行っている団体の皆様にご回答をお願いしました。おかげさまで、全ての団体の皆様にご回答いただくことができました。ご協力ありがとうございました。

令和2年に、行事を全て例年通りに行うことができたところはなく、神事のみを行ったところが最も多い結果となりました。神事以外では、お囃子や獅子舞、人数を減らした浦安の舞の奉納、道祖神の飾り付けを行ったところもありました。その場合、消毒液の設置や、参加者の検温の実施、広い場所でお囃子の練習を行うなど、新型コロナウイルス感染を防止するための工夫がされていました。

中止や、規模を縮小した理由は、準備段階から密の状況となることが心配されたことや、高齢者、子どもへの感染拡大を防ぐためなどが多い結果となりました。伝統的に継承されてきた行事を中止・縮小することに苦心し、話し合いを重ねた様子でした。小中学校の休校や、区の活動自粛などの背景も大きかったようです。

来年度の予定についても、新型コロナウイルス感染症の流行状況次第のため未定という回答が最も多くなりました。今後、伝統が継承されないのではと心配される意見がありましたが、一方で、状況が収束を迎えたときは、伝統の継承や、地域の集う大切な行事のため再開したいという声も多くありました。

安曇野市では、新型コロナウイルス感染症の流行による行事の中止・縮小という過去に例のない状況を受け、今年の祭りの実施や、来年度以降の状況について、経緯を調査し、記録に残していきたいと考えています。伝統文化の継承、保存に重要な調査ですので、今後ご協力をお願い致します。